CUG　２０１７年度計画　策定会議資料

分会活動について

1.広島分会

○分会予定

第 1 回　5 月 17 日（水）

第 2 回　7 月 19 日（水）

第 3 回　9 月 20 日（水）

第 4 回　11 月 15 日（水）

※第 3 水曜日　14:00～17:30　18:00～懇親会

○広島分会鳥取（倉吉）　10:00～16:00

第 1 回　6 月 21 日（水）

第 2 回　8 月 23 日（水）

2.　大阪分会

（1）**アイコンストラクション WG を引き続き年 3 回程度開催したい。**

－＞実際に、ヤードおよびドローンを使用して体験を実施したい。

－＞費用としては、1 回あたり 20 万円で 3 回実施予定。(60 万円)

＊オートデスクのドローンおよび点群モデルソフトの実施もお願いしたい。

（2）それ以外は、通常の開催を 3 回程度とする。

－＞CIM ガイドラインに従って 3 次元モデル作成を実施する。（ハンズオン）

－＞最新の CIM 対応ソフトの紹介および参加会社からの事例紹介

（3）広島分会との合同開催の実施

－＞他の分会との合同分会を実施して CUG 活動の意見交換を実施したい。

－＞開催費用補助（1 万円 X20 名＝20 万円）

予算として、（1）: 60 万円、（3）: 20 万円の合計で 80 万円をお願いします。

3.北海道分会

3.1 分会活動　4 回　（6,8,10,12 月）

・6/　・・・　CIM 導入ガイドライン関連

・8/　・・・　合宿（CIM/i-Construction ウィーク in 北海道）

・10/　・・・　ドローン関連

・12/　・・・　ハンズオン

3.2 ドローン WG 企画案

○目的

ドローンの安全運用に関するマニュアル作成、講習会開催、認定を行う。

○概要

NPO 法人 Digital 北海道研究会では、2017 年 5 月を目標にドローン練習場の運用を始めるべく、準備中です。練習場は、主に建設業向けとし盛土や対空標識を整備予定です。運営は、Digital 北海道研究会のほか参加団体による「北海道ドローン協会」によって進めます。2016 年 12 月現在、参加団体は以下の予定です。

・NPO 法人 Digital 北海道研究会【確定】
・産学官 CIM・GIS 研究会（一般社団法人産学官研究フォーラム）【確定】
・一般社団法人北海道環境保全技術協会【予定】

そこで、CUG においてもドローン WG を立ち上げ参加することを提案します。
協会では、ドローン練習場の運営と合わせて、以下の活動を予定しています。

・パイロットと機体の登録管理
・安全運用マニュアル策定
・講習会開催
・DJI 正規代理店による認定試験（DJI Phantom/Inspire）

CUG ドローン WG での活動内容案は、以下の通りです。
・3DR Solo を対象機とした、安全運用マニュアルの作成
・同、講習会開催（CUG 合宿）
・同、CUG 会員向け国土交通省への許可承認申請に求められる操縦者の技能認定試験

○予算

・協会参加費　10 万円/年間/2.5 日の利用権
・Site Scan 測量パック　250 万～？
・マニュアル作成　50 万円
・合宿費、その他予備費　50 万円

4.新潟分会

新潟の方から、分会設立の依頼が来ている
中心は、シーキューブの　児玉さん、鈴木さん
シーキューブは、　ATC（Autodesk Traning Center）であり、15 台のパソコンを保有
分会は、シーキューブで開催可能

来年度は、　3 回のトライアルを行いながら、分会としての方向性を見極める（藤澤対応）

5.岩手分会　－　従来通り　東京分会と Net 接続で開催

一般社団法人 Civil ユーザ会及び CIVIL USER GROUP

来期活動計画についての議題提案

CUG 認定インストラクター

1.インストラクターの把握と管理

インストラクターの任期が、今までに認定された方が 2 年間ということを知らない人が多い。

2 年たってしまった後の更新方法、条件が決まっていない。すでに、第 1 回目認定の方は 2 年が過ぎてしまっている。

インストラクター把握のため名簿を作成中である。サイトに紹介されている 15 名うち 5 名の認定日が石川では不明であるため、認定者の方に確認してほしい。

名簿として管理する項目（連絡先等）どこまでの情報を管理するか。（別紙）

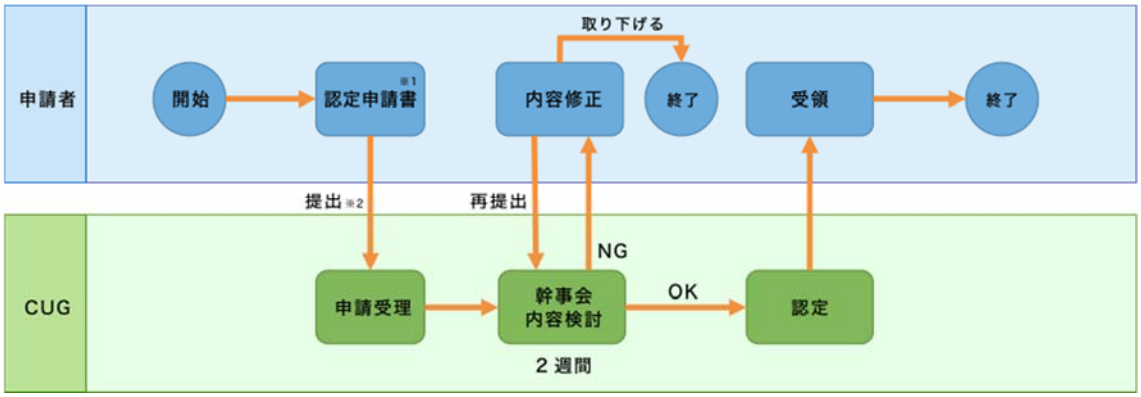
CUG 認定インストラクターの一括管理をする部署？人？を決めた方がよい。認定会が開催された後、合格者名やプロフィールを管理部門に認定者が報告する。

申請書について：現在、15 人の認定者のうち、川崎さんしか申請されていない。現在の認定者の方への対応について、方針を決める必要があると思われます。

（遡って提出して頂くか、更新時に提出頂くか。）

申請書の様式は、認定証への記載事項が網羅されているか確認する必要がある。

現在の申請～認定までのフローは下記の通りです。川崎さんの認定に際しては、杉浦さん、雫石さん、緒方で申請書の内容を確認し、認定しました。



この認定フローで良いのかの確認を今一度お願いしたいと思います。（東京、大阪、北海道、広島、各合宿で同じように認定するかも含め。）

申請書の提出先の決定（専用のアドレスを作成して欲しい。）

申請書に個人情報を掲載した時の個人情報の取り扱い及び各認定インストラクターがビジネスを行う場合、CUG Web に掲載するとした場合の承諾方法について。

上記のフローだと申請書を出して幹部会の OK が出たら認定されるように勘違いしないか？認定会（資料を作成し、皆の前で講習をする）を経て幹部会の OK が出たら認定とした方が良いのではないか？

2.インストラクター認定者に認定証、名刺の配布

一部のインストラクターの方より、証明するものが無いのは不都合が起こる可能性があるので、何か証明するものを発行してほしいと要望があった。

一社）ユーザ会には、打診メールを送ったが、はっきりした了承はまだ受けてはいない。ので、全員の意見を貰い、了承された後、配布する予定でいる。（可否）

認定証、名刺について、サンプルを作成した。（確認）

登録番号を、認定年-00*としている。（確認）

3.認定証、名刺の表記について

名刺には、一社）ユーザ会の住所、電話番号、所属会社名が印刷している。

本人と直接連絡を取る必要がないと思うので、アドレス、携帯番号、会社電話番号などはいらない。との意見があり記していない。

オプションで希望があれば人によっては記してよいか？

4.インストラクターが個人又は所属会社で講習会等を有料で受けることについて。

問題があった場合の責任所在等、双方で交わしておく必要はないか？

（受講金額、講師料、資料・テキスト使用など）

5.インストラクターが作成したテキスト、データセットの取り扱いについて

申請者が作成・認定対象としたトレーニングテキスト、データセットの提出先、公開方法、著作権について：CUG Web だと容量制限があるので、提出方法と公開後の著作権はどちらにあるのでしょうか（確認事項）

6.認定テキストとデータセットについて

申請者がトレーニングコースで申請してきた場合の認定済みのトレーニングテキスト、データセットの所在（確認事項）。

2016/12/21

CUG　部品 SWG 活動幹事（杉浦・長谷川）

2017 年度　３D 部品 SWG 活動計画

【目的】

- CUG 会員が利用出来る無償の部品の公開し、CIM 推進の一助を担う

【活動内容】

- JACIC 標準化委員会 CIM 部品小委員会の活動補助
- 部品を使うことによる生産性向上への取組み事例などをまとめ、各種メディアに広報活動を実施（メディア掲載目標　5 回）
- 部品を通じた各国とのコラボを進める（韓国とシンガポール）
- 部品数を現在の倍に増やす（2016 年 12 月現在 250 個→2017 年 12 月末 500 個）
- 利用価値の高い部品作成手順書出版の可能性を検討する
- 総合部品 Webshop の開設可否検討

【活動スケジュール】・・・5 回

- 活動報告ミーティング（4、6、8、10、1 月）

【活動費用】

「収入」・・・20 万円

- JACIC 標準化小委員会事務局費収入

「支出」・・・22 万円

- 2 ヶ月毎の懇親会費　10 万円（一回 2 万円を上限）
- 部品サイトの改築　10 万円

【メンバー】・・・11 名

杉浦・後藤（大林組）、　小島・糸田川（東急建設）、　石倉・加藤（ヒロセ）

長谷川・石川（水都環境）、　椎葉・新・山村（CTC）

以上

福地良彦　　12/21/2016

Civil User Group　2017 年度活動提案

1）CIM 講習会用モバイルルーター購入について

Yahoo Japan Wi-Fi 契約

http://wifi.yahoo.co.jp/basic/pointcp

費用（2 台分、計 20 台接続可能）

事務費　3,000 円

月額　3,696 円×２台=7,392 円（6 か月間）

月額　4,380 円×２台=8,760 円（その後 2.5 年間）

3 年契約（途中解約の違約金、機器分割払い残金精算必要）

支払：口座振替

理由

CIM 講習会や CIM 塾、その他 CUG 所有 PC を使った講習会でのライセンス取得、クラウドサービス利用のため

予算

2017 年度料

事務手数	3,000 円
2 月～7 月	7,392 円×6=44,352 円
8 月～翌 1 月	8,760 円×6=52,560 円
	99,912 円/年
2018 年度、2019 年度	105,120 円/年



2）CIM初心者のためのCivil 3D入門書の「CUG公認」認定の件

書誌名：i-Construction/CIMをはじめたい人のためのAutoCAD Civil 3D入門（仮題）

著者：芳賀百合氏

CADインストラクター・CADオペレーター。AutoCAD Users GroupInternational Japan会員。主な著書に『AutoCAD LTできちんと土木図面をかく方法』『だれでもできるAutoCAD LT【土木編】』『DVDで学ぶAutoCAD LT』『やさしく学ぶAutoCAD LT』（いずれもエクスナレッジ刊）などがある。

出版：

株式会社エクスナレッジ

監修:オートデスク株式会社福地良彦氏
発売日2017年4月～6月
予価本体3,600円～3,800円
仕様形態:書籍判型:B5判総ページ数:304ページ(2C)付録:教材データ(ダウンロード)
※変更の可能性有

概要:土木プロジェクトの設計、作図、シミュレーション、ビジュアライズを3次元ベースで行える土木設計・施工のための3次元CAD「AutoCAD Civil 3D」を基礎から学べる解説書です。AutoCADに触れたことのある方、「i-Construction」「CIM(Construction Information Modeling)」に関心を持つ方を主な対象としています。提供される教材データを用い、実際に読者が操作しながら3次元土木設計の手法を理解し、AutoCAD Civil 3Dの一連の基本操作を習得できる入門者向けの内容となります。

構成案:
第1章AutoCAD Civil3Dの基本
・AutoCAD Civil3D について
・AutoCAD Civil3D の予備知識
・AutoCAD Civil3D の画面構成
・AutoCAD Civil3D の基本操作
第2章現況地形サーフェスの作成
・現況地形サーフェスについて
・等高線の作成
・等高線からサーフェスを作成
・部分的な地形の作成
第3章平面線形
・平面線形について
・平面線形の作成
・測点の変更
第4章縦断線形
・縦断線形について
・縦断ビューの作成
・縦断線形の作成
第5章アセンブリ
・アセンブリについて
・アセンブリの作成
第6章コリドー

・コリドーの作成
・リージョンの分割
第7章コリドーサーフェス
・ポイント、リンク、シェイプ
・境界の作成
第8章解析
・サーフェスの表示変更
・ウォータードロップ
・土量
・計画高のラベル追加
・クイック縦断

3） i-Construction/CIM 初心者のための InfraWorks360 入門書出版

書誌名：i-Construction/CIMをはじめたい人のためのInfraWorks360入門（仮題）
著者：CUG認定CIMインストラクター　松田郁子氏
出版：　日経 BP 社
現状報告：
現在松田氏にて既存の各種体験セミナーコンテンツをベースとして執筆中（原稿作成料は 2016 年後委託業務として承認を受け発注済です。1 月初旬に初稿、1 月末に最終稿予定、その後出版社にてデザイン調整し 4 月～6 月に出版予定です。
価格：未定
予算：
CUG にて初版本 150 万円分買取（オートデスク他より 150 万円購入、CUG 特別価格にての販売分は収益となります。）

以上
福地良彦

2016/12/21

CUG　幹事（古川）

2017 年度　CUG 活動計画(案)

【目的】CIM 啓蒙普及、人材育成に関する活動を行う。

【１】活動内容

・CIM 塾 後援

・CIM 講演会 2017（10 箇所～15 箇所）後援

・OSGeo & FOSS4G との連携（イベント参加・出展等）

※ 費用１：OSGeo 会費：6 万円（税別）

※ 費用２：イベント参加・出展等：10 万円（税別）

※ 費用３：FOSS4G BOSTON 2017 ：50 万円 ～（税別）

（ 費用等は要確認、参加者は今後検討 ）

【２】書籍出版 or 情報配信 Web サイト構築（OSGeo と協業）

・CIM と 空間情報 及び IoT に関わる情報配信プロジェクト

（ 人材育成に関する情報を集約し広く配信する。(将来的に有料化も視野に入れる)）

※ Web サイトの場合は CUG サイトと連携

※ 費用４：150 万円 ～（税別）

※ メンバー・・・古川(CUG)・林（OSGeo） ＋ 希望者

以上

2016/12/21

CUG　**先端パイロット WG** 活動幹事（山根）

2017 年度 先端パイロット WG 活動計画（案）

【目的】

- 新しい IT 技術やビジネスモデルの情報収集と試行を行い、CUG 会員に発信する
-

【活動内容】

- i-Construction 推進コンソーシアム（３次元データ流通・利活用 WG、海外標準 WG）への参加と情報共有
- AI, IoT, Machine Learning, API Economy といった新技術情報の収集と公開
- 海外先端技術の収集と共有
- クラウドサービスを利用したデータマネジメント検証（BIM Level 3 を想定）
- BIM モデルの施工現場適用検討

【活動スケジュール】・・・2018 年 2 月にキックオフを実施したいと考えています。

【メンバー】・・・これから募集。。。

＜その他議題について＞

・ハンズオントレーニング PC の管理体制

　　・スケジュール共有

　　・ケースの新調？

　　・手配・配送ルール

・精算方法

　　・オンライン化？　郵送

・情報共有方法

　　・３D 部品などの、今後増えていった場合に掲示板で問題ないか

以上

2017

2016/12/21

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1													
2	東京分会(1)												
3							東京分会(6)						
4													
5									東京分会(8)				
6			東京分会(2)					AU 東京					
7						東京分会(5)合宿		東京分会(7)			東京分会(10)		
8					東京分会(4)	東京分会(5)合宿							
9							大阪分会(4)			東京分会(9)			
10													
11				東京分会(3)								東京分会(11)	
12						新潟							
13									大阪・広島合宿		札幌分会(4)		
14					大阪分会(3)			東京分会(7)	大阪・広島合宿	AU 2017 LV			
15	大阪分会(1)												
16													
17				広島分会(1)									
18									新潟(3)				
19			大阪分会(2)			広島分会(2)					大阪分会(6)		
20								広島分会(3)					
21					鳥取(1)								
22											幹部会		
23							鳥取(2)						
24				新潟(1)									
25									札幌分会(3)				
26													
27													
28					札幌分会(1)								
29													
30							札幌分会(2)						
31		総会											

CIM講演会	東京	札幌	福岡	仙台	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	沖縄
		CIM塾				CIM塾		Autodesk University 東京		
建コンCIMハンズオン	東京	札幌	福岡	仙台	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	